

# こうみょう

第40号

この如来は光明なり。光明は智慧なり。  
ちえ  
によらい こうみょう ちえ

智慧はひかりのかたちなり。

しんらんしようにんちよさく いちねんたねんもんい  
親鸞聖人著作『一念多念文意』

新しい年を迎えました。

本年もどうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

昨年同様、仏事や法要は丁寧にお勤めいたし、「門徒や地域の方々が気軽に集える場を開いてゆきたいと思つております。

お寺のホームページに記載されておりますが、光明寺の起源を尋ねてみると、1930（昭和5）年に江東区千田に真宗出雲路派の説教所として開かれ、戦後現在地に移り、後に真宗大谷派に属することになったと記録されています。つまり、4年後の

2030年には光明寺創建100年を迎えることになります。

本堂建て替え、までは力が及びませんが、大切な節目、皆さまと喜び合えるような記念事業を検討して参りたいと思います。

昨年一年で改めて感じましたのは、お寺は地域コミュニティの場であるということでした。コワーキングスペース「光明寺カフェ」、おとな食堂、寺ヨガ、終活セミナー、写教の会などに、近隣地域の方々が多くお見えになり、その中で、お話をしたりコミュニケーションを重ねる中で、私自身も心が安らかになる時間を過ごさせていただいているなあと実感しております。

真宗のお寺は聞法の道場。このことは常に願いとして抱えつつ、お寺が皆さまの日常の場所となりますよう、開いてまいります。

千葉県富浦町の岡本桟橋に行つてきました



第40号  
2026年1月1日発行

発行責任者  
〒135-0013  
東京都江東区千田9-7  
真宗大谷派 光明寺  
住職 小林尚樹  
電話：03-3644-3043  
ホームページ：  
<http://koumyouji-fukagawa.or.jp/>

## 第27回終活セミナー報告

11月15日（土）第2回目となる「終活セミナー」を開催いたしました。

お寺での参加者は講師陣含め25名、Zoomでは7名の方々に「」 参加いただきました。お墓、永代供養墓（合葬墓）への関心が高いようで、皆さん一生懸命聞いておられるようでした。

質疑の時間にも自分のこととして質問されていて、気がついたら終了時刻をオーバーしていました。

「」のお話は、光明寺の合葬墓「光明廟」をデザイン・設計いただいたTSUNAGU代表の森口純一さん。森口さんは「皆さんで考えてみましょう」「これからのお墓と『供養について』」というテーマのもと、大きく変化するお墓への考え方や、多様なお墓・合葬墓（永代供養墓）の形をご紹介いただきました。



亡き方に会うため、心を落ち着かせるため、お願いすることをするため、それでもいいのです。が、動機はどうであれ、先に言つたようになつてゐるのがお墓という施設です。

さて次回は、来年2026年2月7日（土）、テーマは、アンケートの第1位、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を取り上げます。ぜひ、「ご参加ください。

私もお寺をお預かりする住職として大切  
にしていることは、住職や坊守、門徒さんや  
地域の方々の願いをカタチにしたい、という  
気持ちを持ち続けることです。

超えるお寺さんに伺い、そこで見て、感じたこと、そしてそこから見えてくる未来の供養のカタチをお話しくださいました。私なりにも、未来を思い描く良い機会となりました。森口さんが「デザイン」設計される上で大切にされている」とが、住職の想いをカタチにする、ということをお聞きして、まさに「同じだなあ」と思いました。

アンケートを『紹介いたします。

◆参加の動機を教えてください

親や自分たち（夫婦）、将来墓じまいが必要になりそうなので

老女の姉妹が残っています。どちらかが一人になつた場合どう対処するのかを心にとめたいと思いました

◆新たな発見や気づきがありましたか

お墓のデザイナーという職業があつたこと・永代供養墓に対する印象がかなり良くなつたお墓はそこに集う人がもつ気持ちや意識によつて意図が異なり、「お墓とは?」という問い合わせの正解は一つではないのだと感じた

◆全体を通しての感想など

◆聞いてみたいテーマは?

- ・つめ直す良い機会。前向きな気持ちになれます。
- ・森口さんのお話は大変分かり易く、お墓についての価値観や想いの変化がよく理解できました。
- ・興味深く、楽しい会でした。また参加したい

1位 ACP 2位 在宅医療・在宅介護  
同率 3位 介護施設について 相続・遺言

上位に上がつてくるテーマは、みなすでに取り上げたことがあります、毎回新しい参加者もいらっしゃるので、繰り返し学んでいくことも大事なことですね。

## 報恩講勤修

11月9日（毎年第二日曜日）、当寺報恩講をお勤めいたしました。

報恩講とは真宗門徒にとつて一年の中でもっとも大切な御仏事で、本山（京都・東本願寺）では、宗祖親鸞聖人の御祥月命日である十一月二十八日まで、一週間にわたり勤められる法要です。



今年は、ご講師に本明寺ご住職の本田彰一先生にお越しいただき、「ご法話」いただきました。大変やさしく、「ご自身の生活の中でお聞こえてくるお念佛の声をお話くださいました。

私は、ご講師に本明寺ご住職の本田彰一先生にお越しいただき、「ご法話」いただきました。大変やさしく、「ご自身の生活の中でお聞こえてくるお念佛の声をお話くださいました。

光明寺では、毎月第4土曜日に同朋の会（法話会）を開催しております。月に一度、お寺で仏教や親鸞聖人の教えを学び合う会です。学び合うと言いましても、住職の法話を聞きいただいて、その後、お茶を飲みながらお話し合いをする、という形です。

私が住職を拝命いたしましてから始めた会なのですが、今までには、「正信偈」にはどんなことが書かれているのかということ、そして『歎異抄』について学んでまいりました。昨年末で一応『歎異抄』を読み終えましたので、今年からは新しいテーマで開催したいと思っております。

そのテーマを「親鸞聖人の生涯に学ぶ」といたしました。

言わずと知れた浄土真宗の宗祖・親鸞聖人。

その親鸞聖人という方は、どのようなご生涯を生きた方だったのでしょうか。関東、特に茨城を中心に20年ほどいらっしゃいましたが、どのような方々と共に生きてこられたのでしょうか。

親鸞聖人が生きた人生の歩みを学ぶことを通して、その生涯「に」私たち一人ひとりの人生を学びたいと思っております。初回は1月24日（土）14時より16時半頃までとなります。ぜひ、「ご参加ください。

## 親鸞聖人の生涯に学ぶ

## 坊守のつづりや記

最近よく、「〇活」という言葉を聞きます。

「朝活」・「腸活」・「婚活」そして光明寺でもなじみがある「終活」などがあります。

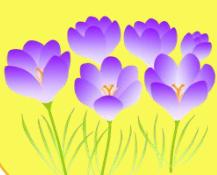
そんな「〇活」の中で、老若男女に元気を与えてくれるのが「推し活」だそうです。自分が「推し」している人や物を多方面から応援することです。「推し」が頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうと思えたり、同じ「推し」を持つファン同士でつながり仲間もできるということです。

皆さんには「推し」している人や物がありますか。恥ずかしながら私は、若い頃からアイドルが好きで、今の私の「推し」はSNOW MANです。歌って踊っている姿をテレビで見たり、車の中で曲を聴くと元気がもらえます。そしてとても楽しいです。

新しい年を迎える今年こそは」と思うことは沢山ありますが、その中でも「寺活」を頑張ろうと思います。今年も昨年に引き続き、開かれたお寺となるよう「寺活」していくます。皆さまからアドバイスなどもいただけると嬉しいです。皆さまの生活の中にも「寺活」が浸透しますように。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

（釋尼真依）



## 一一〇一六年 年忌法要(亡くなつた年)

四十九日法要…亡くなつた日から四十九日

一周年忌法要…一〇一五年（令和七年）

三回忌法要…一〇一四年（令和六年）

七回忌法要…一〇一〇年（平成三十一年）

十三回忌法要…一〇一四年（平成二十六年）

十七回忌法要…一〇一〇年（平成二十二年）

二十三回忌法要…一〇〇四年（平成十六年）

（一十五回忌法要）…一〇〇一年（平成十四年）

二十七回忌法要…一〇〇〇年（平成十一年）

三十三回忌法要…一九九四年（平成六年）

五十回忌法要…一九七七年（昭和五十二年）

※地域により、二十三回忌・一十五回忌・二十七回忌は、お勤めする習慣が異なりますので、お寺に「ご相談ください。

※お寺より年忌法要の「ご案内をお送りしております。ご法事をお勤めする際には、お早めにご連絡ください。

## 東京大空襲追弔法要

東京大空襲により亡くなられた方々への弔いのために製作された「世瀧多觀音」。かつては地域の皆様方と法要が営まれていたようです。屋外ではありますが、お参りください。

場所…世瀧多（せうんだ）觀音前  
日時…3月10日（火）14時より



一〇五年分の護持会費をお納めいただいた方に、本山発行のカレンダーと、カレンダーに書かれている法語についての随想集をお送りいたしました。

二〇六年も引き続き、会費を「ご納入いただきますよう、お願ひ申し上げます。

## 東日本大震災追弔法要

東日本大震災により被災したすべての方に憶いを馳せ、「勿忘（わすれな）の鐘」を撞き、法要をお勤めいたします。

「ご縁がありましたら、お参りください。

日時…3月11日（水）14時46分より  
会場…光明寺本堂  
感話…光明寺住職（15分ほど）  
参加費…無料

「終活」とは、やがて終わりを迎える私の人生に向き合い、心配なことを整理し、今のがちを安心して生きて往くための活動です。お寺で、「ご一緒に考えましょう。

今回のテーマはACP（アドバンス・ケア・プランニング）です。自分の胸に抱えている大切な思いを「もしバナゲーム」を体験することを通して言葉にして表現してみましょう。

日時…2月7日（土）14時～16時  
テーマ…「大切にしていることを、言葉にしてみよう—はじめのいっぽのACP—」  
講師…豊原亮子さん（もしバナマイスター）  
参加費…無料